科目ナンバリング	U-LAS23 10002 SJ48

授業科目名 <英訳>	中国語ＩＡ（演習） C1201,C1202,C1203,C1204,C1205,C1206,C1207,C1208,C1209,C1210,C1211,C1212,C1213,C1214,C1215,C1216,C1217,C1218,C1219,C1220,C1221,C1222,C1223,C1224,C1225 Elementary Chinese A	担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 孫　文秀 非常勤講師 黄　明月 非常勤講師 孫　楊洋 人間・環境学研究科 教授　津守　陽 非常勤講師 林　淑美 非常勤講師 林　麗てい 人間・環境学研究科 教授　小野寺　史郎 人間・環境学研究科 教授　松江　崇 非常勤講師 成　高雅 非常勤講師 殷　文怡 非常勤講師 王　桂紅 人間・環境学研究科 准教授　二宮　美那子 非常勤講師 姜　若冰 国際高等教育院 准教授　劉　愛群 非常勤講師 張　黎 非常勤講師 許　燕華 人文科学研究所 助教　李　媛

群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語

旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）

開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	月3/月4/火2/火3/火4/火5/水4/木1/木2/木3/木4/金2/金3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本授業は、初めて中国語を学ぶ学生を対象にしたものであり、簡単なスキットと初歩的な文法事項を段階的に学びながら、読む、書く、聞く、話すといった能力を身につけてゆく。この授業では特に発音練習、聞き取り練習を重視し、中国語の運用能力を伸ばしてゆくことを目的とする。文法の授業と連携したかたちで、授業をすすめる。

[到達目標]

中国語の発音体系を充分に理解した上で、基本的な中国語の聞き取り能力と表現能力とを身につける。上海などを舞台としたスキットを題材としつつ、広く中国の文化に対する理解を深める。

[授業計画と内容]

この授業はフィードバック（方法は別途連絡する）を含む全15回で行う。最初の３回の授業では、テキストの「発音編」に基づきながら、中国語の表音システムであるピンイン（ローマ字綴り）の学習を通じて中国語の発音体系のあらましを習得する。その後、テキストの「本文編」とその「練習問題」を利用しつつ、正確な発音や基本的な聞き取り能力の養成、表現力の習得を目指す。前期は発音編と本文編第九課までを学びながら、特に、基本的な文章をきちんと発音し、また聞き取れるようになることをめざす。原則として1回の授業で本文編１課分を学習する。なお、Web上にも教材や練習問題の音声を置き、履修生には24時間自由なアクセスを認め、その自学自習を支援する。

本授業は、所定の文法の授業と連携して行われるため、かならずセットで履修しなければならない。この授業だけの履修は原則として認められない。各回において学ぶ内容（発音事項・文法事項）は次のようである。授業では、これらの文法事項を用いた文や会話の聞き取りを行い、その内容に対する質問に中国語で答える練習をも行う。

中国語Ⅰ A（後期） C1201,C1202,C1203,C1204,C1205,C1206,C1207,C1208,C1209,C1210,C1211,C1212,C1213,C1214,C1215,C1216,C1217,C1218,C1219,C1220,C1221,C1222,C1223,C1224,C1225,C1226

第1回　発音編「中国語の音節構造」「声調」「韻母 その一 単母音」「声母 その一」
第2回　発音編「韻母 その二 複合母音」「声母 その二」「韻母 その三 鼻音を伴う母音」「第3声の発音」
第3回　発音編「簡単なフレーズ」「声調変化」「軽声」「儿化」
第4回　第一課、「人称代詞」「“ 是 ”“ 不是 ”」「動詞述語文」
第5回　第二課、「連体修飾1“ 的 ”」「語気助詞“ ma ”“ ne ”」「副詞“ 也 ”」
第6回　第三課、「指示代詞」「形容詞」「動詞“ 在 ”」」
第7回　第四課、「動詞“ 有 ”」「介詞“ 在 ”など」「数詞と量詞」
第8回　第五課、「進行表現“ 在／正在…（ne） ”」「時間詞1“ 今天 ”“ 晚上 ”など」「選択疑問文“ …還是…？ ”」
第9回　第六課、「語気助詞“ ba ”」「副詞“ 就 ”」「副詞“ 都 ”」
第10回　第七課、「“ zheme ”“ name ”」「“ 想 ”“ 打算 ”“ 要 ”」「“ 一下 ”」
第11回　第八課（前半）、「時間詞2　年・月・日・曜日・時刻」「名詞述語文」
第12回　第八課（後半）、「主述述語文」「“ 一点児 ”」
第13回　第九課（前半）、「結果補語」「アスペクト助詞“ 過 ”」
第14回　第九課（後半）、「“ 不是…ma? ”」「“ 把 ”構文」
《期末テスト》
第15回　フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

原則として定期試験70%、平常点30%で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。

中国語の正しい発音の修得、および基本的な語彙・文型の聞き取り能力とそれらを用いた表現能力の修得とが評価の基準となる。

[教科書]

赤松紀彦　他 『中国語の世界―上海・2026―』（大地社）

[参考書等]

（参考書）
詳細な学習方法や、辞書及び参考書については、最初の授業や授業の中で紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

Web上に教材や練習問題の音声を置く。24時間自由にアクセスできるので、必ず授業前に発音・聞き取りの練習をしておくこと。また、練習問題が宿題となることもある。必ず復習とともに練習問題等の課題を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

最初の授業において紹介する。

[主要授業科目（学部・学科名）]